

時間割コード	G2B55716	開講年度	2026				
授業題目	AIジェネラルスキル基礎ゼミ					担当教員	林 憲一
英文授業名	Life Creator Theory 2						丸橋 昌太郎
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限		対象学生
講義室	経法2 1 1 演習室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	大学D P						
	的確に情報を収集し，理解し，発信する力					・学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力 ・対話を通じて多様な専門分野の者と協力し、目標実現のために方向性を示すことができる ・多様な情報を適切に取捨選択し、分析・活用できる	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	前期の「ライフクリエイター入門講義」では身の回りのAIから始め、AIの歴史、AIの基礎的な技術、AIに関わる法律や倫理の課題、またAIの仕事への影響など、AIを様々な視点から議論した。この「AIジェネラルスキル基礎ゼミ」では農業やロボット、教育など様々な専門家の先生をお招きして、各分野でどのようにAIが使われているかを特別講義から理解する。さらに学際的なチームによるグループワークを行い、身近な課題の解決のためにAIがどのように活用できるかを「スタートアップを起業する」という形式を通してAIの諸問題への理解を深める。						
(5)授業のキーワード	グループワーク コミュニケーション 課題発見・解決 論理的思考 AI 人工知能						
(6)授業計画	実施回 タイトル 講師 第1回 ガイダンス 林憲一 第2回 グループワーク 1 林憲一 第3回 生成AI 1 林憲一 第4回 生成AI 2 林憲一 第5回 学際チームでAIを使ってみよう 1 林憲一 第6回 学際チームでAIを使ってみよう 2 林憲一 第7回 特別講義「AIと農業」 第8回 特別講義「AIとロボット」 第9回 学際チームでAIを使ってみよう 3 林憲一 第10回 特別講義「生成AIと教育」 第11回 特別講義「AIと特殊詐欺」 第12回 学際チームでAIを使ってみよう 4 林憲一 第13回 学際チームでAIを使ってみよう 5 林憲一 第14回 学際チームでAIを使ってみよう 6 林憲一 第15回 まとめ、授業アンケート 林憲一 順番等は入れ替わる可能性がある。初回ガイダンスで示す。						
(7)成績評価の方法	各授業に対する小テストあるいはレポートを実施します。またグループワークの成果と発表もしてもらいます。成績はこれらに基づき評価します。						
(8)成績評価の基準	試験やレポートの水準は、次の通りである。 必要最低限の知識と考え方を身につけており、授業中に示される事例の問題点を指摘できるようになれば、授業の達成目標に達したといえる（60～69点）。過不足のない知識を身につけ、授業中に示される事例を理論的に分析できるようになれば、水準よりも上回る（70～79点）。十分な知識を身につけ、授業中に示される事例を理論的に分析でき、解決まで考えられればさらにその水準を上回る（80～89点）。それ以上の理解・分析・解決ができ、実生活で実践できれば卓越している（90点以上）。						
(9)事前事後学習の内容	事後的な復習が強く求められる。参考文献等は適宜授業内で示していく。						
(10)履修上の注意	小テストに、スマートフォンもしくはPCを利用するので、各自準備して、持参すること。 全学横断特別教育プログラム「ライフクリエイター人材養成コース」を選択する学生は、必修科目であるが、そうでない学生も受け入れる。						
(11)質問、相談への対応	授業内もしくは授業後に受け付ける。						
(12)授業への出席	毎回小テストや演習、グループワークを行うため、出席できないと単位習得は難しい。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	オンデマンド配信により対応する。						

【教科書】	指定しない
【参考書】	指定しない